

2008 年度

<p>科目名</p> <p>児童サービス論</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部全学科 2 回生</p> <p>教育教福 2 回生</p> <p>人間人社 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p>中道 厚子</p>
<p>授業テーマ</p> <p>児童サービスの理論と実践を学び、実際に児童サービスを実践できる図書館員の育成をめざす。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>公共図書館で行われる児童サービスの基本目的は、所蔵する児童資料を媒介として子どもたちに本を読むおもしろさ・楽しさを知ってもらうことにある。本講義では、一人でも多くの子どもたちが、自発的に読書する習慣を身に付け、さらに読書することによって、豊かな心をもつ人間性にあふれた大人へと成長できるよう、図書館員としてどんなサービスを行えばよいかを具体的に学ぶ。</p>		
<p>評価方法</p> <p>課題への取り組み姿勢と、レポートで評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>必要に応じて指示</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>必要に応じて指示</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 児童サービスとはなにか <ol style="list-style-type: none"> ①歴史 ②意義 ③これから 児童の発達段階と読書 <ol style="list-style-type: none"> ①公共図書館と児童 ②発達段階と読書1 ③発達段階と読書2 児童のための図書館資料 <ol style="list-style-type: none"> ①蔵書構成1 ②蔵書構成2 ③資料の整理と管理 児童サービスの実際 <ol style="list-style-type: none"> ①基本的なサービス ②フロアワーク1 ③フロアワーク2 児童サービスがつくる新しい可能性 <ol style="list-style-type: none"> ①地域に果たす役割 ②学校図書館との連携 ③その他 		